

全室個室病棟に対する関する院生(看護管理者)からの聞き取り / 全室個室の経験者はなし。

【個室のメリット】

全室個室のメリット

- ・カーテンを閉めずケアをできるのはいい。
- ・感染者が出てベッドを移動させる必要がない。
- ・病状説明等も面会室等に移動せずに居室のままできる。
- ・患者を中心としたチームを組むというイメージで医療スタッフが集合しやすい。
- ・家族の面会も時間が自由になるので、働いていても面会に来やすい。
- ・携帯電話やPCも自由に使用してもらえる。
- ・個室希望の患者は少なくない。
- ・今は自宅が個室という患者がほとんどなため、個室が自然である。
- ・一部に大部屋があると個室希望者で空き部屋がなく大部屋になったときにクレームが出る。
- ・始めた当初は慣れなかったが、やっていけばこんなものかと思えるらしい。

2床室のデメリット

- ・2人のウマが合わないトラブル。4床以上であればだれかとは仲が良くなれる。

多床部屋のデメリット

- ・現在の患者はプライベートな空間を求めるので、カーテンを閉め切りの患者は多い。
- ・多床部屋だと窓側と廊下側で明るさが違い、不満が出る。
- ・認知症やいびきなどで、他の患者からのクレームも少なくない。

全室個室にするなら…

- ・廊下を挟んで両サイドに病室がある構造がよい。片側だと動線が長くなる。
- ・プレイルームのように患者が集まれる場所があるとよい。さみしがる患者はいる。

【個室のデメリット】

全室個室または個室が多い場合のデメリット

- ・看護ケアの点からすると動線が悪く、動きづらい。
- ・ぎりぎり 7:1 の基準を取っているような看護師数では、ケアがまわらない。
- ・個室の料金が払えない患者は少なくない。混在している場合、大部屋に空き部屋がなく説明をしたうえで個室に入ってもらうが、未払いのまま退院する人も少なくない。

2床室のメリット

- ・1人分のスペースが広い
- ・個室ほど重症でないが、4床部屋だとNs室から遠くなるので2床部屋にしてNs室に近いところに置きたい患者はいる。
- ・2~4床くらいだと認知症の患者同士で入れておける。
- ・夫婦で入院する患者もあり、2人部屋だと非常に都合がよい。
- ・2~4床部屋をパーテーションで区切るタイプもある。

多床部屋のメリット

- ・認知症の患者に不穏な動きがあると、他の患者が知らせてくれる。
- ・術後譫妄の患者は、大部屋の方が回復がよい。
- ・意識レベルが低い患者では、家族が大部屋の方がにぎやかでよいということがある。